

韓国大統領選挙と朝鮮半島情勢

2012. 11. 26

1) 一本化論議

①安哲秀の浮上

2011 ソウル市長選挙において安哲秀が候補に浮上

社会的知名度、若者ら浮動層の支持、政党への失望の表出
最終的には朴元淳が出馬し安哲秀は譲歩、出馬せず

2012年の大統領選挙出馬に含み

②総選挙と大統領選挙候補者

2012. 4 総選挙で予想を裏切り与党セヌリ党の勝利

朴槿恵、保守基盤をよくまとめ確実に票を確保

福祉公約 経済民主化 など受け入れ

選挙指導部や候補に若い層を取り込み

→必死に政権を守ろうとする保守側の競り勝ち

☆与党の候補は事実上決定 総選挙は大統領選挙の前哨戦

7. 10 正式に出馬表明 → 8. 20セヌリ党大会で決定

野党陣営の出遅れ

5 統合進歩党、総選挙候補の予備選における不正問題で混乱

6. 17 文在寅出馬表明 このほかの候補もこれに前後して出馬表明

李海瓚 - 朴智元体制が文候補を選択、支援

8. 25～ 地域別予備選開始 → 過半数の票を獲得し文在寅勝利

9. 16 党大会で公認候補に

安哲秀に一本化を呼びかけ

安哲秀の去就

7. 19 『安哲秀の考え』出版

8. 16 安哲秀財団、名称変更を拒否し大統領選挙終了まで活動留保を決定

9. 19 安哲秀、出馬表明、一本化についてはすぐには議論しないと述べる

2) 保守派の攻撃

①伸び悩む朴槿恵

父朴正熙大統領について評価を避け批判的に

8. 31 洪思徳共同選対委員長、維新がなければ輸出100億ドルはなかった

不法政治資金スキャンダルも噴出、9. 18離党

広がらない支持層～慶尚道、高齢保守層に限定

人民革命党事件について「ふたつの判決がある」

追及され9. 24会見で謝罪

話すことが不得手なためテレビ討論拒否し放送各局ともにテレビ討論自体を中止
正修奨学会の持ち株売却問題

MBC, 釜山日報株の売却益を慶尚南道地方にばらまき、利益誘導はかる
内谷洞疑惑

李明博大統領の引退後の私邸購入にまつわる

9. 3 国会で与野党が特別検事任命に同意

10. 16～11. 14 特別検事による捜査、大統領府にまで捜索要求
贈与税追徴で決着したが疑惑を払しょくできず

②保守色への回帰

10. 8 セヌリ党のチョン・ムノン議員、国会で盧武鉉発言「暴露」

第2回南北首脳会談(07. 10. 4)で盧武鉉大統領が、米軍が設定した南北の海上の境界線「北方限界線」(NLL)を否定に領海を放棄する発言をしたとの疑惑を提起

南北首脳会談会議録公開要求に発展

国家情報院の元世勲院長、与野党の合意があっても国家安保上公開不可
文正仁教授、共同漁業区域設定のための国防長官会談に向けて出されたNLLを起点とする①等距離設定案と②当面積設定案を歪曲したものと解説

朴槿恵、保守基盤固めへ

安保強調

平和協定を結んだから平和が来るのではない(11. 12)

10. 25 自由先進党がセヌリ党に合流

11. 24 李会昌もセヌリ入党「左派政権だけは防がなくてはならない」

経済民主化、放棄へ

11月に入り 財閥規制立法やめ、経済成長を強調し始める

3) 安候補の譲歩

①一本化の紆余曲折

10. 30 文在寅、一本化協議を呼びかけ

11. 6 安・文会談 一本化原則に合意

11. 14 安哲秀、民主党側が「譲歩論」「入党論」流したと反発、協議中断表明

安哲秀側～民主党の党刷新を要求し圧迫 支持率低下の悩み

文在寅側～政党批判に負担、一本化方法で対立

一本化交渉チームに全大協同期のペク・ウォヌ(文陣営)とイ・テギユ(安陣営)

ハンナラ党のキングメーカーイ・テギユへの不信で対立感情

11. 18 民主党最高委員会議で幹部総辞職、12時に会見で発表

12時30分、文在寅が一本化の方法を安陣営に任せると表明

20時 ソウルで安・文会談、新政治共同宣言発表

11. 22 安・文、一本化で会談、テレビで政見討論

11. 23 一本化協議、再び暗礁に

20時20分 安哲秀、文在寅に譲歩表明

②一本化の今後

安哲秀=イメージ管理と次を狙える立場

勝てば実力を発揮できるし負けても次期大統領選挙を狙える

安哲秀のクリーンで私欲の無いイメージを管理するためにも今回の大統領選挙で役割を果たすと見られる

政治的基盤の弱さと経験不足

自陣営の人材不足、政党組織でないため民主党から人材を引き抜き摩擦も

存在感は増大

文在寅勝利に貢献すれば不動の第二人者に

「新しい政治」具体化と実践に機会

浮動票の再登場

安哲秀候補の登場で浮動票が無くなったといわれていたが、再び浮動票が表面化

安哲秀支持者分析 (ハンギョレ)

文候補に好感42%、政権交代願う70%、セヌリ政権22%

11月25日世論調査 朴49.8%、文41.6%、わからない、無回答8.6%

野党にとって厳しい選挙戦だが安哲秀の役割が選挙の帰趨を決する

4) 北朝鮮の動き

10. 19 朝鮮人民軍西部戦線司令部、公開通告状で対北ビラ散布に警告

10. 20 国防委員会政策局報道官、李明博の延坪島訪問を非難

10. 18 訪問

10. 25 外務省報道官、デービス発言は分別のないもの

10. 22 デービス北朝鮮政策特別代表、武大偉と会談

11. 6 米国大統領選投票、オバマ再選

11. 9 藤村修官房長官、日朝協議を15~16にモンゴルで行なうと公表

11. 15~16 長時間の日朝協議 横田夫妻への訪朝要請報道

11. 17 宋日昊日朝交渉担当大使「次回は年内に」